

総合周産期母子 医療センター

連絡先 022-717-7711(周産期救急搬送コーディネート受付)



新生児部門では毎日沢山の新生児・乳児
が入退院しています。

分娩室の一部では帝王切開や小手術を定期的に施行しています。



センター長
八重樫 伸生

特色

総合周産期母子医療センターでは産科と新生児科とが一体となって診療を行っています。

産科の特徴 産科では、ハイリスク妊娠・分娩を管理するため最新の超音波機器や集中管理システムを用いた診断を行い、より早く対処できるよう診療しております。年間の分娩数は約850件で、救急搬送コーディネート数が約500件、そのうちの約200件を当院で受け入れています。また、センター専任の臨床心理士を擁し、精神科と連携しながら患者さんの精神的サポートも行っております。(産科 斎藤昌利)

新生児科の特徴 新生児室は病床数33床(新生児集中治療室15床)、新生児科医8～10名と後期研修医数名、助産師/看護師50名、臨床心理士、医療社会福祉士などで協力して診療しています。年間の入院患者数は約300名で、その中には超低出生体重児約40名、人工呼吸管理60-80名、外科手術20-30名が含まれます。主に、生育限界児、母体合併症児、胎児異常の新生児を診療しています。(新生児科 塩田卓志)